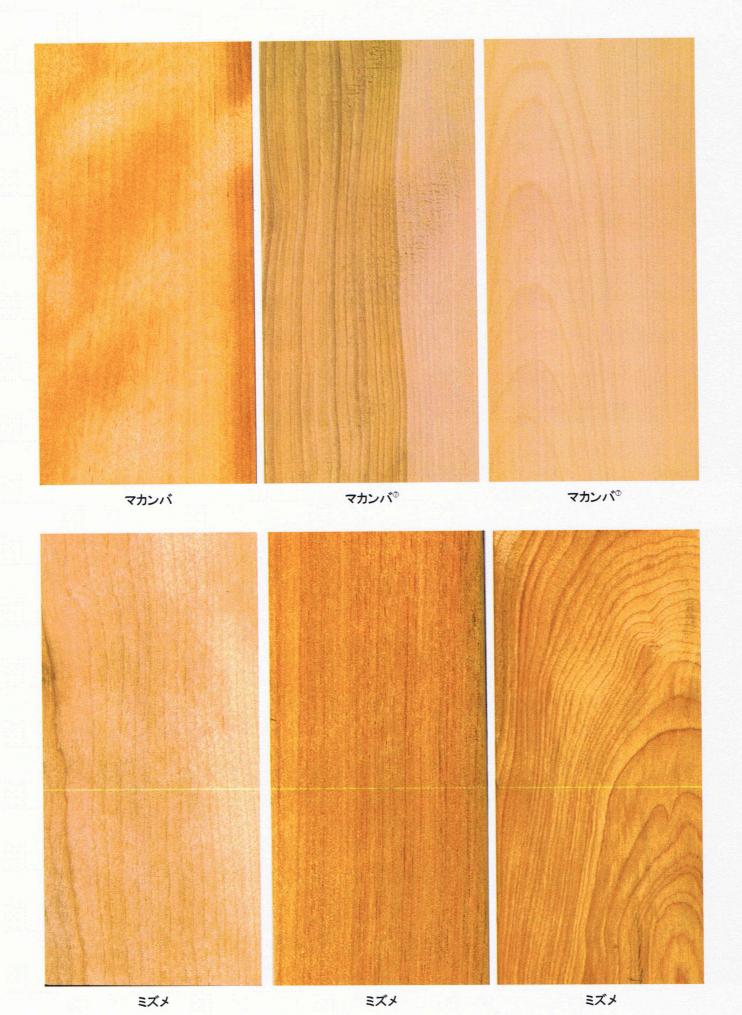
MAKANBA

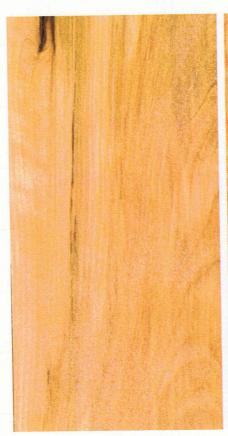
JAPANESE RED BIRCH マカンバ

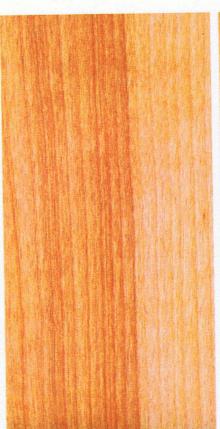
Makanba (マカンバ) 真樺 (ウダイカンバ) Japanese red birch カバノキ科カバノキ属 学名 Betula maximowicziana

-1,	ir anba		/キ属 学名 Betula maximowicziana	
表	面状	態	散孔材 比較的重硬で、木理は緻密、均質、通直。	
生	育	地	本州中部以北、北海道等に自生している。北海道産広葉樹の代表的なものの一つ。	
材		色	心材 淡黄褐色~淡紅褐色 辺材 白色~淡黄白色 心辺材の差はあまり明瞭ではない。	
重		さ	気乾比重 0.67(g/cm ³) やや重硬。	
強		さ	曲げ強さ 105N/mm² 縦圧縮強さ 48N/mm²。	
弾	性 係	数	曲げ弾性係数 13.0kN/mm ² 。 やや硬い。	
加	I	性	木材が重硬の割には加工性は良好。 表面仕上げも良好で、接着性は良い。。	
耐	久	性	耐久性は中庸程度。	
安	定	性	狂いは生じにくい。	
乾	燥	性	木材乾燥は比較的容易。	
塗	装	性	塗装性は良好。 着色もきれいに仕上がる。	
同	属樹	種	ミズメ(B. rossa)、シラカンバ(B. mandshrica)、ダケカンバ(B. ermanii)、 オノオレカンバ(B. schmidtii)、ヨーロピアンバーチ(B. verrucosa)、 イエローバーチ(B. alleghaniensis)、チェリ ーバーチ(B. lenta)、 ホワイトバーチ(B. papyrifera)、レットバーチ(B. nigra)	
用		途	樹木としての形質が良く、木材は緻密で均質、重硬なので、色々なところに使われている。家具、建具内装材、フローリング、敷居、洋風建具、カバ化粧合板等の他、ミシンテーブル、挽物木地、紡績用織機、機械器具の部品等性質に応じた使われ方である。 カバ材は材質的にサクラ材に似ているので、サクラ材の代用としての用途があったが、サクラ材とされている多くのものはカバ材であることが多い。 マカンバは比較的通直で、長大材が採れるので、敷居等の建築部材に賃用されている。 樹皮は松明(たいまつ)として用いられていることから、ウダイ(鵜松)カンバともいわれる。	



- 2 -







ダケカンバ

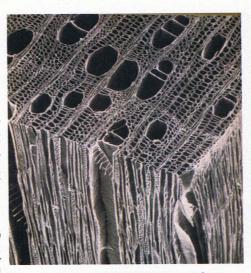
イエローバーチ[©]

ヨーロピアンバーチ[©]

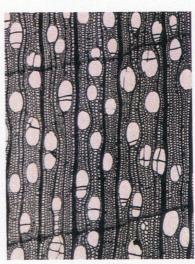
同属の樹種	木材の特徴
ミズメ (水目) (B. grossa)	岩手県以南~四国、九州の山地に広く分布している。ヨグソミネバリ、アズサといった呼び方をされていることもある。サクラ材と樹肌や材が似ているので、ミズメザクラということもある。ミズメはマカンバより少し重硬で、マカンバほど通直でないことがあり、若干木理が乱れているものがある。その分、加工性や乾燥性が難しいが、ほとんどマカンバと同様と考えられる。重硬さを生かした道具の柄や漆器木地、靴の木型等にも使われていたが、家具、建具、フローリング等に広く使われるようになった。民芸家具(洋家具)はこのミズメを主材料として作られている。
ダケカンバ (岳樺) (B. ermani)	北海道~本州の山岳地帯に広く分布するとともに、中国、朝鮮半島等のアジア 東北部にも分布している。 材はマカンバと同様であるが、マカンバほど素直な 樹木ではなく、高山地域に多く搬出が容易でないことからあまり重要な木材と は考えられていない。
シラカンバ (白樺) (B. mandshrica)	北海道から本州の中部・北部、中国等穂真部、朝鮮半島、シベリア、サハリン等にわたって生育している。 樹肌が白く、叙情的なので、高原地帯の代表的な樹種として親しまれており、長野県の県木に指定されている。 材質はマカンバと同様であるが、大径材が少なく、形状も素直ではないので、用材としてはあまり使われていない。 しかし土産品としての白樺細工、こけし等は有名である。
オノオレカンバ (斧折れ樺) (B. schmidtii)	オノオレカンバは日本の中部、北部の他、中国東北部、朝鮮半島等に生育している。 斧が折れるほどというように非常に重硬で緻密なので、ガラスの木型、櫛(木祖お六櫛)、算盤珠、洋傘の柄等、硬さと緻密さが生かされた用途に使われている。 ミネバリといわれることもある。

同属の樹種	木材の特徴
オウシュウシラカンバ ヨーロピアンバーチ (B. verrucosa)	Silver birch、White birch、Common birchとも呼ばれ、欧州では一般的な樹木となっている。 日本のシラカンバに近い樹種で、建築内装材、家具、器具材その他の広い用途に使われている。 ロシアではカバ合板にも使われている。
イエローバーチ (B. verrucosa)	アメリカ東北部、カナダ東南部に産し、建築材、合板用材として広く使われている。 日本にもバーチ材として輸出している。
チェリーバーチ (B. lenta)	アメリカ東部〜中部に生育している。 樹肌や材がサクラに似ているので、チェリーバーチと呼ばれているが、日本のミズメと同様である。 アメリカにはその他、ホ ワイトバーチ(B. papyrifera)、レッドバーチ(B. nigra)、ブラックバーチ(B. occidentalis)等がある。

カバノキの仲間は、北半球の温 帯地域~亜寒帯地域に広く見られ る樹種で、50~60種類ほどあるとさ れています。木材は散孔材でやや 重硬く、日本を始め、北欧、ロシア、 北米、東アジア等でかなり利用され ている木材であるといえます。 日本 ではマカンバの他、ミズメ、ダケカン バ、シラカンバ、オノオレカンバ等が あります。 マカンバはこれらの中 で、最も素直で、形質も良好であり、 緻密、均質な木材なので、各方面の 用途に広く使われています。 特に 長尺材が採れ、フローリング、敷居 等に向いています。 木材はやや重



マカンバの走査型電子顕微鏡写真®



マカンバの木口の顕微鏡写真®

硬で、強靱ですが、加工性や乾燥性はその割に良好ですし、製品化後も安定しています。さらに接着性や塗装性も良く、仕上がり感も良いので、ミシンテーブル、靴用木型、漆器木地、スキー板等にも使われています。 そして家具や建具、建築内装材等にも賞用され、洋風、和風を問わずに使いやすい木材です。家具や内装材等に使われるので、化粧合板としてもかなり作られています。 日本で、よくサクラ材を使ったものがありますが、その多くはカンバ系のものが多いようで、木目や材質はよく似ています。 そのことから、カバザクラ、ミズメザクラというような言い方をすることが多いようです。 ミズメはマカンバより少しクセのある木材ですが、それだけ木質感を表現しているともいえます。 松本民芸家具(洋家具)はこのミズメを主体として使っています。

最近になって、中国やロシア等からカバ材が輸入されるようになってきました。 欧米でもカバノキは日常的に使われています。 住宅の構造的な部分にも使 われており、勿論内装材にも多用されています。 特に北欧やロシア等ではヨー ロピアンバーチあるいはホワイトバーチとして、北米ではイエローバーチ、チェリ ーバーチが合板や色々なところで使われています。



ヤマザクラの木口の顕微鏡写真®